

衆議院議員 森 英介 様



1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、財政的支援を図ること
2. 広域地盤沈下の影響や地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討すること
3. 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

令和7年12月24日

参議院議員 石井 準一 様

茂原市議会議員 向後 研二



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市の二級河川一宮川流域は、過去に度々浸水被害が発生してきました。そのため、平成元年及び平成8年の浸水対策では「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風第26号の浸水対策では「100mm/h 安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。その結果、浸水リスクが大幅に軽減されたことは、関係当局のご尽力によるものと深く感謝しております。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約4,000戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、JR外房線の一部運休や国道道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水するなど、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そして、令和5年9月8日台風第13号の接近に伴う大雨は、1時間最大雨量78ミリ、12時間最大雨量371ミリ、降り始めからの総雨量405ミリという観測史上最大の豪雨となり、茂原市民は、またしても生活に甚大な悪影響を及ぼす5度目の大規模浸水被害を受け、「浸水するまち」「住みにくいまち」といったマイナスイメージは本市にとって深刻な問題となっております。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づく治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、より一層の財政的な支援を要望します。

また、一宮川水系における中流域は、広域地盤沈下の影響や一宮川本川に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあり、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備の検討を要望します。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、まちづくりの生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、必要な予算の確実な確保等に特段のご配慮を賜われますよう要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、財政的支援を図ること
2. 広域地盤沈下の影響や地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討すること
3. 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

令和7年12月24日

参議院議員 猪口 邦子 様

茂原市議会議員 向後 研二



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市の二級河川一宮川流域は、過去に度々浸水被害が発生してきました。そのため、平成元年及び平成8年の浸水対策では「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風第26号の浸水対策では「100mm/h 安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。その結果、浸水リスクが大幅に軽減されたことは、関係当局のご尽力によるものと深く感謝しております。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約4,000戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、JR外房線の一部運休や国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水するなど、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そして、令和5年9月8日台風第13号の接近に伴う大雨は、1時間最大雨量78ミリ、12時間最大雨量371ミリ、降り始めからの総雨量405ミリという観測史上最大の豪雨となり、茂原市民は、またしても生活に甚大な悪影響を及ぼす5度目の大規模浸水被害を受け、「浸水するまち」「住みにくいまち」といったマイナスイメージは本市にとって深刻な問題となっております。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づく治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、より一層の財政的な支援を要望します。

また、一宮川水系における中流域は、広域地盤沈下の影響や一宮川本川に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあり、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備の検討を要望します。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、まちづくりの生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、必要な予算の確実な確保等に特段のご配慮を賜われますよう要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、財政的支援を図ること
2. 広域地盤沈下の影響や地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討すること
3. 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

令和7年12月24日

参議院議員 臼井 正一 様

茂原市議会議長 向後 研二



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市の二級河川一宮川流域は、過去に度々浸水被害が発生してきました。そのため、平成元年及び平成8年の浸水対策では「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風第26号の浸水対策では「100mm/h 安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。その結果、浸水リスクが大幅に軽減されたことは、関係当局のご尽力によるものと深く感謝しております。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約4,000戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、JR外房線の一部運休や国県道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水するなど、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そして、令和5年9月8日台風第13号の接近に伴う大雨は、1時間最大雨量78ミリ、12時間最大雨量371ミリ、降り始めからの総雨量405ミリという観測史上最大の豪雨となり、茂原市民は、またしても生活に甚大な悪影響を及ぼす5度目の大規模浸水被害を受け、「浸水するまち」「住みにくいまち」といったマイナスイメージは本市にとって深刻な問題となっております。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づく治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、より一層の財政的な支援を要望します。

また、一宮川水系における中流域は、広域地盤沈下の影響や一宮川本川に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあり、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備の検討を要望します。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、まちづくりの生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、必要な予算の確実な確保等に特段のご配慮を賜われますよう要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、財政的支援を図ること
2. 広域地盤沈下の影響や地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討すること
3. 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること

令和7年12月24日

衆議院議員 多ヶ谷 亮 様

茂原市議会議長 向後 研二



二級河川一宮川水系河川の整備促進に関する要望書

本市の二級河川一宮川流域は、過去に度々浸水被害が発生してきました。そのため、平成元年及び平成8年の浸水対策では「河川激甚災害対策特別緊急事業」が実施され、平成25年の台風第26号の浸水対策では「100mm/h 安心プラン」が登録され、二級河川一宮川の改修、堤防の嵩上げ、調節池の増設が実施されているところです。その結果、浸水リスクが大幅に軽減されたことは、関係当局のご尽力によるものと深く感謝しております。

しかしながら、令和元年10月25日の大雨では、市内の二級河川一宮川水系の数箇所河川が氾濫し、3名の尊い命が犠牲となり、浸水区域は約1,200ヘクタールにおよび、約4,000戸の住居等が床上床下の浸水被害を受けました。また、JR外房線の一部運休や国道道を含む主要な道路が長時間に渡り冠水するなど、市内の交通網は麻痺状態に陥り、住民活動に大きな影響を与えました。

そして、令和5年9月8日台風第13号の接近に伴う大雨は、1時間最大雨量78ミリ、12時間最大雨量371ミリ、降り始めからの総雨量405ミリという観測史上最大の豪雨となり、茂原市民は、またしても生活に甚大な悪影響を及ぼす5度目の大規模浸水被害を受け、「浸水するまち」「住みにくいまち」といったマイナスイメージは本市にとって深刻な問題となっております。

そこで、更なる流域の安全安心を確保するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」に基づく治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、より一層の財政的な支援を要望します。

また、一宮川水系における中流域は、広域地盤沈下の影響や一宮川本川に支川が集まる地理的要因による浸水リスクがあり、これらの浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備の検討を要望します。

本市にとって一宮川水系河川の改修は、まちづくりの生命線であり、全市民が一日も早い洪水被害の解消を強く待ち望んでおります。

これらのことから、一宮川河川改修事業の早期完成のため、必要な予算の確実な確保等に特段のご配慮を賜われますよう要望いたします。

記

1. 地域住民の生命と財産を守り、安全で活力ある経済社会を実現するため、「二級河川一宮川水系河川整備計画」及び「一宮川水系流域治水プロジェクト」による治水事業を強力に推進するとともに、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえた本市の流域治水の取り組みに関し、財政的支援を図ること
2. 広域地盤沈下の影響や地理的要因による浸水リスクを解消するため、中流域から太平洋まで伸びる新たな導水路の整備を検討すること
3. 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、継続的に事業の推進を図ること
4. 事業の実施においては、自然環境や生活環境に十分配慮した対策を講じること